

令和元年10月8日
航空局国際航空課

第40回国際民間航空機関（ICAO）総会の開催結果について

9月24日～10月4日に開催された国際民間航空機関（ICAO）第40回総会で、次期3カ年（2020年～2022年）のICAOの活動方針・計画等が審議されたほか、理事国選挙で我が国が第1カテゴリー理事国に再選されました。また、航空安全・航空保安、航空管制に関する世界計画の改訂等が承認されました。

令和元年9月24日（火）から10月4日（金）までの間、ICAOの第40回総会がICAOの本部があるカナダ・モントリオールで開催され、わが国からは浅輪技術総括審議官を首席代表とする代表団が参加しました。

1. 航空安全、航空管制、航空保安、環境に関する計画について

本総会においては、次期3カ年（2020年～2022年）のICAOの活動方針・計画等が決議されたほか、

- (1) 航空機事故等を減らすため、各国における航空安全プログラムの導入や運航リスク軽減等を内容とする2020-2022版の世界航空安全計画（GASP）が承認されました。
- (2) 航空交通の高度化を進め、将来の航空交通量の増大に適切に対応するため、世界航空交通計画（GANP）第6版について、安全性及び航空交通サービスのパフォーマンス指標並びに相互運用性等に係る改訂が承認されました。
- (3) 航空保安の強化を進めるためのロードマップである世界航空保安計画（GASeP）の更なる推進や、出入国の円滑性を含めた改訂の検討を進めることが承認されました。
- (4) 国際航空分野のCO2排出削減を進めるため、前回総会で決議された国際航空におけるカーボンオフセット制度^{*}の推進や、長期的な削減目標に係る検討を進めること等が合意されました。

^{*}Carbon Offsetting and Reduction Scheme for International Aviation（CORSIA）

2. 理事国選挙結果について

わが国は1956年以降、連続して理事国に選出されていますが、今回の選挙においても第1カテゴリー理事国^{*}に立候補し、引き続き選出されました（得票数は第1カテゴリー11か国中第3位）。

^{*}理事国は36カ国で任期は3年。第1カテゴリー（航空運送において最も重要な国）11カ国、第2カテゴリー（国際民間航空のための施設の設置に最大の貢献をする国）12カ国、第3カテゴリー（その国を指名すれば世界の全ての主要な地理的地域が理事会に代表されることになる国）13カ国から構成される。

3. その他

ICAO総会の技術委員会において、我が国が副議長に選出され、航空技術に関する審議をリードする役割を担い、日本のプレゼンスを示すことができました。

問い合わせ先（国土交通省代表 03-5253-8111）

全般に関して 航空局 国際航空課 藤崎（48157）、狩野（48159） 直通：03-5253-8702

1. (1) 航空安全に関して 航空局 安全企画課 松重（48293） 直通：03-5253-8696

1. (2) 航空管制に関して 航空局 交通管制企画課 青野（51130） 直通：03-5253-8740

1. (3) 航空保安に関して 航空局 航空保安対策室 若松（49534） 直通：03-5253-8727

1. (4) 環境に関して 航空局 政策企画調査室 山本（48173） 直通：03-5253-8695

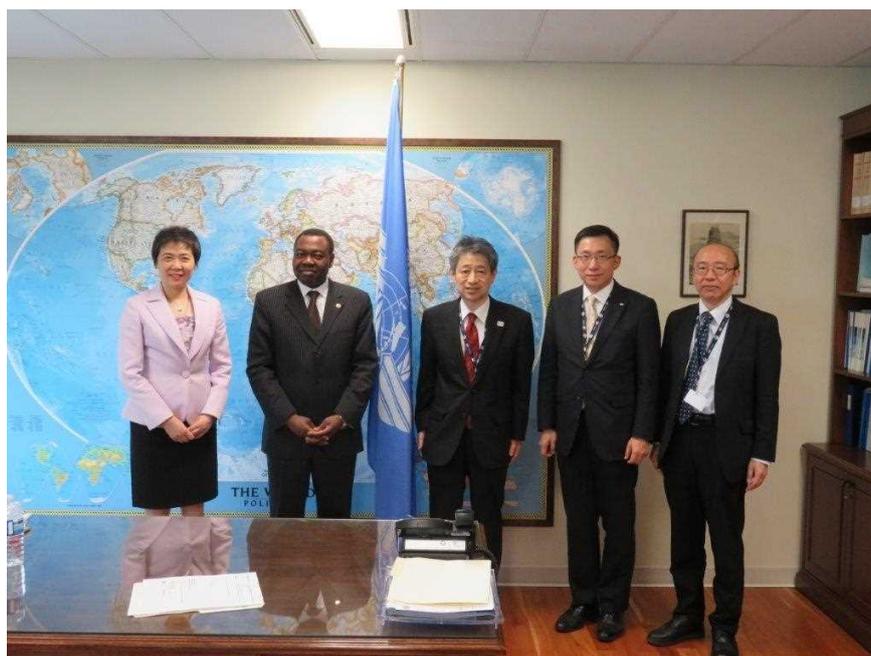
浅輪技術総括審議官による代表演説

浅輪技術総括審議官が代表演説を行い、首都圏機能強化により、我が国と世界各国との航空ネットワークが拡大したことをアピールした他、東京オリパラ2020に向けた取組、航空安全・保安、航空管制、環境、国際協力の各分野における日本の取組やICAOへの貢献を加盟国にアピールしました。



アリウ理事会議長及び柳事務局長との会談

アリウ ICAO 理事会議長及び柳事務局長と日本とICAOとの協力関係の更なる強化について意見交換を行いました。



ホロレイ EU 運輸総局長との会談

ホロレイ EU 運輸総局長と、日本と欧州委員会 (EU) 間の協力関係について広く意見交換を行いました。特に、日 EU 間の航空保安 (ワンストップ・セキュリティ) について、今後、協議を進めることを確認しました。



李健中国民用航空局副局長との会談

李健中国民用航空局副局長と会談し、日中双方航空企業の更なる就航・増便による日中間の航空ネットワークの拡大など日中間航空関係について、幅広く、意見交換を行いました。

